

令和6年8月1日

自由民主党総裁・政治刷新本部本部長

岸田 文雄 殿

自由民主党 青年局

青年局長 鈴木 貴子

自由民主党・再生に向けた建言

我が党は、今般の政治資金をめぐる問題により、国民の自民党に対する深刻な不信を招き、その信頼を著しく失墜させた。

自民党は国民政党として、国民全般の利益と幸福のために奉仕しなければならない。それは、単なる“人気取り政策”ではなく、目先にとられぬ真に民主主義の深化に資するものでなくてはならない。

先般より、政治の信頼回復に向けて、党員党友、国民の声を聞く政治刷新車座対話が開催されてきた。この対話の結果を今後の政治改革に適切に反映させることはわが党の信頼回復のための第一歩である。今秋に控える自民党総裁選挙は、自民党がその重い責任を自覚して再生したことを党内外に示すことができる重要な機会でもある。

我々青年局は、将来に責任を果たす責任世代として、真に「政治は国民のもの」との理念を実現するため、下記のとおり、提言する。

記

1. 政治刷新車座対話において顕在化した課題を整理し政治改革に反映させること

本年3月より、「政治刷新車座対話」が45都道府県（7月25日現在）において開催されてきたが、参加者の意見の内容、その後の対応方針やスケジュールなどの情報が一切公開されておらず、この「やりっぱなし」にもみえる状態が、さらなる政治不信につながっている。全国の車座で寄せられた意見・課題を整理し、党内で速やかに共有、議論の場を設けたうえで、具体的な行動目標を示し、国民の負託に応えるよう全力を尽くすことを求める。

2. 国民に対して、広く開かれた総裁選挙のあり方を追求すること

政権与党のリーダーは、すなわち国家のリーダーである。国のリーダーは、国家観や理念、政策をカタチにするための的確な判断力と実行力が備わっていなければならない。この資質を広く国民が十分に判断するだけの議論が期待されている。また、この議論は、党員・党友のみならず広く国民に提示されることが極めて重要である。

信頼回復の途上にある我が党にとって、そのリーダーを選出する総裁選挙は我が党の命運がかかった舞台である。選挙期間を前例に捉われず可能な限り確保し、候補者が揃った全国遊説のみならず、地方での討論会やオンラインを活用しての双方向・参加型討論会などを最大限開催するとともに、各候補者の主張がまとめられた広報物の制作、SNSを通じたタイムリーな情報発信を強化することで、開かれた総裁選挙の実現を求める。

以上